



平和資料館開設に全力、空き施設の利用 鈴鹿市に協力要請へ、第8回総会開く

鈴鹿市の戦争遺跡を保存・平和利用する市民の会は4月24日、ジェフリーすずかで第8回になる今年度の総会を開きました。出席者は24人。活動報告、会計報告、活動計画、予算、役員人事の議事はとくに質問もなく原案通り承認されました。活動計画の中で鈴鹿市に保管してもらっている旧海軍格納庫の部材の保管期限が今年度末で切れることから、この部材を生かすなどした平和資料館の開設に目途をつけるべく鈴鹿市と対話を進めていくことを決めました。

共同代表あいさつ

こんにちは。本日は「鈴鹿市の戦争遺跡を保存・平和利用する市民の会」総会に足をお運びくださりましてありがとうございます。この市民の会も2009年、平成21年3月に設立総会を開いて以来、8年目に入りました。今年は、いよいよ懸案の平和資料館設立に目途をつける大事な年になります。というのも、三宅町にある鈴鹿市の文化財倉庫に保管してもらっている格納庫の部材約30点の保管期限が今年度末の来年3月で切れるからです。保管期限の更新を書類による通知で1年ごとにしてきましたが、市との寄託契約書によりまして、「平成29年3月31日を超えて更新できないものとする」となっています。市と話し合いを進めて、この部材を資料館の展示物として生かしていかなければなりません。



部材だけでなく、世話人で戦争遺跡の研究者である浅尾さんが長年にわたりコツコツ収集してきた資料が数百点あります。一部を会場に展示してもらいましたが、これらも資料館ができれば寄贈してくれるそうです。さらに、各家庭に残された遺品等を収集、保管、展示する施設にしていく考えです。

私たちはつい最近まで残っていた旧海軍の巨大格納庫の保存に全力を挙げて取り組んできましたが、1万3千人の署名も通じず、取り壊されてしまいました。それにめげず目指したのが、格納庫があったことを象徴するモニュメントの建立と平和資料館の設立でした。モニュメント



は昨年2月末、桜の森公園内に完成しました。今度は資料館というわけです。市と連携協力して空きのある公共施設を提供していただく目途を何とかつけたいと思います。

きょうの記念講演は、市民の会の世話人で浅尾さんと並ぶ戦争遺跡研究の第一人者、岩脇彰さんに「各地での戦争遺跡保存運動の取り組み」と題して話してもらいます。戦争遺跡保存全国ネットワークができて20年になりますが、岩脇さんはその運営委員をしておられます。このテーマにふさわしい講師です。ご静聴ください。

各地での戦争遺跡保存運動の取り組み

岩脇 彰（市民の会世話人、亀山西小学校教諭）

1. 戦争遺跡をどう保存するのか～全国に3つ残っている凱旋門から～

日露戦争後に全国で作られた凱旋門。現在、3つ残っていることが判明しています。鹿児島県と浜松市、そして三重です。3つを訪ねると保存のされ方がかなり違うことに気づきました。

鹿児島のは説明板がありますし、道標もかなり遠くから整備されています。ですから「通りすがり」の人でも興味をもって訪れることができます。浜松のは道標がなかったので探すのに苦労しましたが、凱旋門の近くには説明板があつて歴史的背景がわかりました。しかし、菰野町のは何もなく、近くを通っても気づかないし、知っている人しかわからない状態です。こういう状態を「放置」と言います。歴史的価値は同じなのにかわいそうです。

○登録文化財と指定文化財

そして、鹿児島と浜松は「登録文化財」になっています。登録文化財というのは、主に近代（明治）以降に造られた多様なものが壊されないように記録するものです。記録だけなので修復のお金などは出にくいです。それに対して「指定文化財」というのがあります。これは国や都道府県、市町村が「歴史的な財産」として責任をもって守るもので、修復も税金で行われます。鈴鹿や三重の戦争遺跡を指定文化財にし、道標や案内板をつけるのが、これからの目標です。

所在地	鹿児島県 始良町	浜松市 浜川	菰野町 潤田
説明板	○	○	×
道 標	○	×	×
観光化	○	×	×
登録文化財	○	○	×
指定文化財	×	×	×



(始良町の凱旋門)



(浜松市の凱旋門)



(菰野町の凱旋門)

2. 指定文化財になった戦争遺跡（国指定28、都道府県16、市町村98。合計142）

全国を見ると、すでに指定文化財になっている戦争遺跡が142もあります。

有名なのは「原爆ドーム」（1996年国史跡→世界遺産）です。ただ、この戦争遺跡も、今の津波遺跡と同じように「忌まわしい記憶だから取り壊してほしい」という声も多くありました。遺族の方の思いは当然です。しかし、保存を決めたのは「目から消えるものは記憶から消える」という思いでした。記憶に残すために、語り継ぐために戦争遺跡を残したいと思います。鈴鹿市の格納庫は消えましたが、一部の部材はまだ残してあります。有効に活用させていきたいものです。



原爆ドームよりも早く、指定文化財になったのが沖縄県南風原町の南風原陸軍病院壕（1990年に戦争遺跡として町指定文化財）です。南風原町では地下壕を詳細に発掘調査し、整備して

公開しました。資料館を充実させ、案内ガイド養成もしています。沖縄の戦争遺跡は軍事施設より民間の居住壕を、沖縄戦の慰霊の場として大切にしています。道標や説明板も充実、平和学習の場として活用されています。すでに19の戦争遺跡が市町村指定文化財になっています。

鈴鹿市の^{えんたい}掩体は三重県で初めて登録文化財になった戦争遺跡ですが、全国では13の掩体が指定文化財になっています。**高知県南国市**では7基の掩体が市の指定文化財になり、道標や説明板が完備されています。さらに戦争遺跡がすべて「遺物包蔵地」（遺跡）として登録され、発掘調査なしに破壊できないように守られています。



(南風原陸軍病院壕)



(南国市の掩体)



(鈴鹿市三畑の掩体)

3. 市民の力で保存・平和活用されている戦争遺跡

指定文化財にはなっていませんが、市民が積極的に保存・平和活用をすすめている戦争遺跡もあります。**登戸研究所（川崎市）**は全国初の戦争遺跡を使った平和ミュージアムで、「明治大学平和教育登戸研究所資料館」という素晴らしい名前がつけられています。ここで行われていた謀略兵器研究の加害責任も見事に展示されています。市民の力で整備・公開された**松代大本営（長野市）**にも年間10万人が訪れ、沖縄等へ修学旅行に行く高校生の事前学習の場にもなっています。

津市の空襲遺跡保存もすばらしいです。早い時期から市民が空襲記録の調査をし、開発で消滅する空襲遺跡の移築保存を市に要望し実現させてきました。三重で同じように空襲被害を受けた桑名、四日市、伊勢と比べて空襲遺跡が多く残り、説明板も設置されているのは市民の力です。

4. 戦争遺跡（平和ミュージアム、モニュメント）で何を伝えるのか

最近、戦争遺跡に対して「軍事遺跡」という名称が使われるようになりました。これは平和ミュージアムに対する「戦争博物館」と同じです。私たちは、「戦争遺跡から平和を学ぶ」「二度と新しい戦争遺跡を作らない」ことを大切にしたいです。これは、かつて平和的生存権（国民は平和に生きる権利がある。国からの命令で国民は死ねと言われぬ）を認めなかった時代：政府への反省があるかどうかに関わり、今の改憲論争ともつながります。

5. 最後に三重県の嬉しいニュース！

明和町に残る陸軍通信隊の幹部用防空壕が町の指定文化財になりました。三重県では、戦争遺跡として初めての指定文化財です。県はずっと消極的だった中での町の英断です。行政は前例主義なので、これまで低調だった三重の文化財指定が変わる可能性があります。市民の力で戦争遺跡の保存と平和活用を進めていきましょう。



(明和町の防空壕)

「平和への祈り展」に初参加、写真パネルや遺品など展示

毎年、鈴鹿市が催している「平和への祈り展」（5月27～29日、イオンモール鈴鹿のイオンホールで）に、私たち市民の会は市民実行委員会の一員として初めて参加しました。「鈴鹿にも戦争があった」と題して、市内にある戦争遺跡の写真パネルや戦時中の遺品などを展示、訪れた市民に見てもらいました。

掲示板の中央に、どこにどんな軍事施設があったか全体が分かる大きな地図を掲げ、その両側に鈴鹿海軍工廠関連の試射場、火薬工場、鈴鹿海軍航空隊の取り壊された格納庫など、陸軍関係の第一気象隊訓練風景、北伊勢陸軍飛行場掩体（国の登録文化財）、椿秘匿飛行場の航空写真など約20点を展示しました。

さらに、武運長久を祈る寄せ書き、千人針、召集令状（赤紙）、戦時国債、海軍工廠でつくった弾薬、算所であった空襲の爆弾破片、当時の小学校教科書など数十点を展示しました。

今年の「平和への祈り展」は「杉原千畝展～その記録と功績～ユネスコ世界記憶遺産～」がメイン。広島と長崎の原爆の記録も展示されました。3日間に1283人の市民が訪れ、熱心に見入っていました。



第3回 戦争遺跡親子見学会のご案内

- ・日 時 2016年7月24日（日） 9時～12時（集合；8時50分）
- ・集合場所 鈴鹿市加佐登町 フラワーパーク第3駐車場（パーク西、管理棟寄り）
- ・見学場所 陸軍第一航空軍教育隊跡（高塚町）－北伊勢陸軍飛行場掩体（三畑町）－北伊勢陸軍飛行場跡（亀山市能褒野町）－陸軍第一気象連隊跡（石薬師町）－集合場所
- ・講 師 浅尾 悟さん（本会会員、白子中学校教諭）
- ・参加費 1000円（バス代及び資料代、保険代として）
- ・募集人員 25名（定員になりしだい締めきらせていただきます）
- ・申込み締め切り 2016年7月17日（日）
- ・その他
 - ・「親子見学会」ですが、一人でもご参加いただけます。
 - ・各見学地へはマイクロバスで移動します。
- ・申込み先 下記申込書で電話（ファックス）・メールにて山門までお申し込みください。
電話（ファックス） 059-386-1725
メール r-dolce@mecha.ne.jp



【発行】 鈴鹿市の戦争遺跡を保存・平和利用する市民の会

代 表 竹内宏行、中森成行

〒510-0254 鈴鹿市寺家1-2-47

電 話 059-388-6508

メール ta818hi@mecha.ne.jp

H P <http://www006.upp.so-net.ne.jp/asao/peacesuzuka.htm>